

平成24年度 第4回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成25年3月21日 木曜日 午後3時00分～午後4時55分
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 平成25年度国および北海道の予定公共事業について</p> <p>(3) 東部4支所管内における保健活動の推進について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成25年度事業計画について</p> <p>(2) 平成25年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>(1) 函館市縄文文化交流センターの活用について</p> <p>(2) その他</p> <p>その他</p>
出席委員	<p>熊谷委員 高谷大喜委員 高谷静子委員 藤川委員 山下委員 遠山委員 佐々木委員 木原委員 張磨委員 齊藤委員 (計10名)</p> <p>・報道関係 函館新聞社 (計1社)</p> <p>・傍聴者 (計0名)</p>
欠席委員	坂本委員 小川委員 工藤委員 野口委員 (計4名)
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長 佐藤洋一 企画部計画推進室計画調整課長 田畑聡文 南茅部支所地域振興課長 進藤昭彦 同計画調整課主査 宿村篤由 同市民福祉課長 小枝精一 同計画調整課主任主事 小玉 亮 同産業建設課長 川井敏彦 教育委員会生涯学習部参事 阿部千春 同地域振興課主査 西谷光一 市立函館保健所東部保健事務所 山田勝之進 同地域振興課主任主事 飯田敏次 南茅部教育事務所長 田名部洋 市立函館南茅部病院事務長 加我賢也 (計13名)</p>

1 開会 (午後3時00分)	
事務局 (進藤課長)	ただ今より、平成24年度第4回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
熊谷会長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>皆さま、ご苦労さまでございます。</p> <p>毎年のこととはいえ、3月、4月は必ず嵐が来るといって、昨日もまとまった雪が降り、皆さんもお疲れになっているかと思えます。</p> <p>また、年度末を迎えて大変お忙しい中ではありますが、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>本日の審議会ではありますが、平成24年度の第4回目の会議になります。</p> <p>平成25年度を迎えるにあたり、事業計画、国や北海道の予定公共事業の説明を受けるほか、東部4支所管内における保健活動の推進について東部保健事務所から説明していただくことになっております。</p> <p>また、前回お願いいたしました、縄文文化交流センターの活用について意見交換のテーマにしておりますので、時間の制限もありますが、その中で皆さんから忌憚のないご意見・ご提言をいただいで地域活動にまい進して参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
3 支所長あいさつ	
佐藤支所長	<p>&lt;挨拶要点&gt;</p> <p>皆様には、何かとお忙しい中、ご出席いただき心から感謝申し上げます。</p> <p>ここ数日、南風が吹いて温かくなってきたと思っておいたら、夕べからの降雪で、すっかり冬に逆戻りしてしまい、冬と春の季節が入り混じっていると感じております。</p> <p>市議会定例会につきましては、会期が25日までとなっており、新年度の予算につきましては、予算特別委員会が19日に終了しているところであります。市の財政状況は一段と厳しい中ではありますが、地域経済の活性化に資するもの、教育環境や防災対策にも配慮された予算編成となっております。</p> <p>本日の会議内容は、熊谷会長のご挨拶にもありましたとおり、平成25年度の事業計画などとなっておりますが、活発なご意見、ご提言を私からもお願いしたいと思っております。</p> <p>以上、申し上げます、開会の挨拶に代えさせていただきます。</p>
4 出席委員の報告	
事務局 (進藤課長)	出席者10人、欠席者4人、地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により、会議の成立をご報告いたします。

## 5 報告事項

### (1) 諸般の報告

熊谷会長 日程5の報告事項に入ります。  
(1) 諸般の報告について、佐藤支所長から報告ののち、質疑を受けたいと思います。

佐藤支所長 1点目ですが、函館市の人事異動であります。去る3月13日に部長級の内示がございました。私が3月末をもちまして定年退職となり、後任として港湾空港部の國安次長が昇格し、南茅部支所長として4月1日から着任する予定であります。國安次長は、企画部の管理課長を務め、その後土木部で新外環状道路の参事をされ、函館広域幹線道路整備促進期成会の事務局として南茅部のバイパス整備にも携わっておりましたので、ある程度、南茅部地域の状況等について承知している方でございます。

2点目は、今回の市議会定例会において、南茅部地域にも関する質問等が出ております。ひとつが、これからの地域審議会をどうしていくかということであり、企画部長から、合併特例債の期限が5年間延長されており、その間は、地域審議会に代わる何らかの組織が必要であると答弁されております。そのほか、南茅部地域に関連する東部4地域の質問として、防災対策、学校給食、縄文遺跡群の世界遺産登録の関係、昆布のまち函館市として取り組むべきではないかというような内容の質問がございました。

熊谷会長 報告が終わりましたので、質疑に入ります。  
質疑ありませんか？

(特に無し)

特に無いようですので、質疑を終了します。

### (2) 平成25年度国および北海道の予定公共事業について

事務局 (資料1のとおり説明)  
(進藤課長)

熊谷会長 報告が終わりましたので、質疑に入ります。  
質疑ありませんか？

遠山委員 道路の整備の件で、函館市と合併を推進した当時、市と町村の交通アクセスをきちんと整備していくということで合併に進んでいった経緯がある。道道函館南茅部線に関しては、縄文遺跡群が世界遺産登録となれば交通量の増加が見込まれ、冬場の通行や、大雨の際の通行止めなど、非常に不安な部分がある。

現在、亀尾橋付近を整備しているが、将来的には、整備区間が亀尾で止まるのか、それとも、継続して道路幅の拡幅や直線化が進められていくかどうか教えてほしい。

産業建設課 (川井課長)	<p>亀尾地区の進行状況についてですが、直線化については、まだ用地処理が完了していないため、橋の部分を実行して工事を行っております。その他亀尾から川汲方面での道路幅の拡張、直線化等については、今のところ整備計画はない状況であります。</p>
遠山委員	<p>地域にとって道道函館南茅部線は主要道路であり、日常的に使っているが、例えば馬場のカーブが危険であること、また、一時は明林荘の裏からトンネルを通すという話もあった。今、政権が変わり、いろいろな経済対策として道路整備なども出てくると思われるが、これらを含め、将来的に、市として道に要望していくものなのかどうかお尋ねしたい。</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>委員のおっしゃる通り、馬揚、明林荘のカーブは曲がりくねって非常に危険だと認識しております。</p> <p>以前からこの部分については直線化等の要望をしてきておりましたが、その後は、道の予算や計画の縮小ということもありまして、今のところ、整備計画に入っていないというのが実情でございます。</p> <p>今後も整備に向けては、危険性を考慮したうえで要望していきたいと考えております。</p>
遠山委員	<p>地域としては、川汲トンネルから南茅部側の道路整備について、大雨、大雪対策と道路拡張も併せて要望して行ってほしいと思います。</p>
熊谷議長	<p>他にありませんか？</p>
佐々木委員	<p>世界遺産登録に向け、大沼方面から縄文文化交流センターへのアクセスがどのようになるのか気になっている。</p> <p>バイパス豊崎～大船間について、大船のどの辺りに接続する予定なのか？また、世界遺産登録となるまでに通られるようになるのか？</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>1点目のバイパスがどこまで延びるかについてですが、現在の計画では2.9kmで大舟漁港を少し越えたところの枯木野地区の国道に接続する計画であります。2点目の開通が世界遺産登録に間に合うかについてですが、今後、測量が入り、用地買収、遺跡の発掘調査も想定されることから、今のところ、完成予定年次は示されておられません。</p>
佐藤支所長	<p>バイパス豊崎～大船間2.9kmの未整備区間については、市としても重点懸案事項ということで、国の方に毎年要望している事項であります。</p> <p>支所としても、1日も早く工事が着工されるように要望し、事業が円滑に進むように地域の懸け橋になって頑張っていきたいと考えております。</p> <p>また、逆の見方として、世界遺産の方向が見えてくれば、必然的にバイパスの整備も早まる可能性があるとも考えております。まず、バイパスが整備され、その後に世界遺産登録を迎えられることが理想ですが、どちらが先かというよりも、同時並行的に世界遺産も、バイパス整備も動く、どちらも</p>

	一緒に整備され、通行する方の利便性を確保できればと思っておりますので、今後も引き続き国の方に要望して参りたいと思っております。
佐々木委員	縄文文化交流センターや世界遺産登録の件もそうだが、生活道路としても今の状態では不自然であり、地域としても早期開通を望んでいる。少し遅くなっても開通させてほしい道路なので、よろしく願いしたい。
熊谷会長	他にありませんか？
高谷大喜委員	バイパス関連についてだが、バイパス豊崎側の終点の交差点で交通量が増えてきており、交通事故の発生が心配される。信号機の設置を要望できないか？
熊谷会長	今の関連で、交通量調査を実施しているのか合わせて答弁願います。
産業建設課 (川井課長)	豊崎終点部のT字路へ信号機を設置してほしいとの要望ですが、支所としても信号機の設置については、国道、道道の関係機関と連携しながらということで、土現と開建の方へ要請をしております。しかし、当初、北海道で交通量調査したところ、交通量が低く、今の段階で信号は設置できないとのことでした。今後、バイパスの延長、交差点の十字路化、T字路のままでも交通量が増えていくとなれば、緊急性も見ながら要請して参りたいと思っております。
藤川委員	バイパスの延伸先にある豊崎町の市営住宅について、現在、どの程度入居しているのか？
産業建設課 (川井課長)	現在、4棟ございますが、海側3棟の住宅へ計7世帯程入居しており、一番山側の棟は、入居者がいないという状況であります。
藤川委員	将来的には、道路用地に掛かって全部取り壊しになるのか？
産業建設課 (川井課長)	豊崎町の市営住宅は4棟ありますが、バイパスの予定コースで道路用地に掛かるのは、一番山側の1棟のみとなっております。海側3棟については現状のままとなります。用地に掛かる部分は補償がでることになります。今後、住宅事情によりましては、入居される場合も考えられますので、時期を見ながら退去してもらうことも考慮し、対応して参りたいと考えております。
高谷静子委員	入居希望があれば、これからも入居可能なのか？
産業建設課 (川井課長)	市営住宅については、現在、住宅都市施設公社で担当しておりますが、公募して希望者がいれば、入居可能となっております。 なお、公社から、建物が古く傷みもあるため、公募してもなかなか希望者がいないと聞いております。
熊谷会長	他にありませんか？

(特に無し)

無いようですので、質疑を終了します。

(3) 東部4支所管内における保健活動の推進について

東部保健事務所  
(山田所長) (資料2のとおり説明)

熊谷会長 報告が終わりましたので、質疑に入ります。  
質疑ありませんか？

遠山委員 資料を見ると、母子、認知症、特定疾患、精神、感染症、成人高齢者に項目が分けられているが、どのような業務が行われているのか具体的に教えてほしい。

東部保健事務所  
(山田所長) まず、母子については、乳幼児や妊産婦の相談に関する業務となっております。認知症については、主に高齢者が多いのですが、アルツハイマーなどの支援、訪問といった業務となります。特定疾患については、いわゆる難病に関する支援や相談のほか、これらの方々の受給者証申請を受付し、保健所などへ進達する業務となっております。精神については、躁うつ病などで障がいを抱えている方への支援や相談のほか、これらの方々の受給者証申請を受付し、関係課へ進達する業務となっております。感染症については、インフルエンザなどに関する相談業務となっております。最後に成人高齢者については、高齢者の介護支援や高齢に伴う不安などの相談業務となります。

現在、保健師は住民の来所相談や電話相談に対応するため、週1回、各支所で待機しております。表の下段は各支所に待機して対応した平成23年度の実績件数となっております。4支所の合計では、来所相談が82件、電話相談が41件、母子手帳が38件、特定疾患の受付業務が106件、精神の受付業務が62件となっております。

来所相談や電話相談を除いた、母子手帳の交付、特定疾患の進達、精神の進達については受付業務であり、保健師以外にも十分対応が可能ですので、平成25年度から臨時職員を配置して対応することとし、来所相談については月2件程度と少ない件数になっておりますことから、東部保健事務所から保健師が直接、各家庭を訪問して相談を受けるほうが効率的と判断しておりますので、そのような体制に変更していきたいと考えております。

遠山委員 特定疾患と精神の進達業務とはどのような業務なのか。

東部保健事務所  
(山田所長) まず特定疾患についてですが、特定疾患の医療受給者証というものが、国と北海道が指定している難病等の特定疾患に認定された場合、患者の自己負担限度額を超えた分の医療費を公費で助成する制度があり、その申請受付業務となります。次に精神進達については、自立支援医療受給者証と

<p>熊谷会長</p> <p>東部保健事務所 (山田所長)</p> <p>熊谷会長</p>	<p>いうものがあり、精神障害などで北海道が指定した病院で該当する医療を受ける場合、医療に必要な費用の一部を公費で負担するもので、その申請の受付業務でございます。</p> <p>今の説明によると、これまでは月4回、保健師が各支所に待機して来所相談等に対応していたが、件数的に少ないため、電話等で相談を受けた住民に対し、保健師が直接お宅を訪問して相談を受ける方向へ変更するということが良いか。</p> <p>そのように考えております。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>6 議 題</p>	
<p>(1) 平成25年度事業計画について</p>	
<p>熊谷会長</p>	<p>日程6の議題に入ります。</p> <p>(1) 平成25年度事業計画について、事務局から説明願います。</p>
<p>事務局 (進藤課長)</p>	<p>(資料3のとおり説明)</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ありませんか？</p>
<p>齊藤委員</p>	<p>消防署が高台に移転する計画は載っているが、保育園の項目に何も記載されていない。消防署が移転するのに、隣接する尾札部保育園は今の状態でそのまま使用していくということか？</p>
<p>市民福祉課 (小枝課長)</p>	<p>尾札部保育園についてですが、建物が古いということで年次は決まっていますが建て替えが必要と考えております。もう一つは、臼尻と尾札部の統合の問題があります。今年は、臼尻で40人弱の応募しかありませんでした。将来的には、臼尻は30人程度、また、尾札部は40～50人ということで統合して新築移転したいということもあります。まだ年次は決まっていますが、平成25年度中には、ある程度を目安をお示しできればと考えております。</p>
<p>齊藤委員</p>	<p>ひろめ舟祭りの開催補助金が450万円で昨年同額となっている。昨年は祭りが中止になったが、歌謡ショーの中止による芸能人のキャンセル費用</p>

	等は発生したのか？
産業建設課 (川井課長)	<p>昨年はひろめ舟祭りが中止になり、芸能人に掛かる経費がどうなったかとお尋ねですが、実際のところ、キャンセル料はサービスしていただきました。ただし、既に手配して費用が発生するものもありましたので、数十万円の費用はありましたが、相当考慮していただき、約90%の費用は掛かりませんでした。</p>
張磨委員	<p>安浦の市営住宅はどこが管理しているのか。2件くらい入居しているようだが、現在、お化け屋敷のようになっており、今後どのようになるのか？</p>
産業建設課 (川井課長)	<p>安浦町の白樺団地のことだと思いますが、市町村合併するまでは、支所にも住宅関係の事務がありましたが、合併後は住宅都市施設公社へ集約し管理することになりました。現在、支所の方で住宅に関する業務を行っていないため、詳しくは承知していない状況となっております。</p>
佐藤支所長	<p>現在、南茅部に10箇所の団地があります。今後の入居状況や施設の老朽化を勘案すると、尾札部、臼尻、川汲など、ある程度集約化する必要があると考えております。ただ、今現在、市としても東部4地域で住宅が何戸くらい必要か、団地の集約化などの計画がまだ見えていない状況であります。</p> <p>今後の住宅事情や人口減少もありますので、十分勘案しながら都市建設部や住宅都市施設公社といろいろ相談して参りたいと考えております。</p>
張磨委員	<p>状況を見ていないかもしれないが、安浦の市営住宅はとても荒れており、早く取り壊すことはできないか？</p>
佐藤支所長	<p>川汲のアカシア団地、尾札部の八木川団地、豊崎のはまゆり団地等、老朽化して入居も出来ないような状況になっているところもあります。今後、修繕して入居できるところ、閉鎖しなければならないところ、それらを含めて支所として状況を伝えていきたいと思っております。</p>
熊谷会長	<p>今の張磨委員の質問に関連して、住宅都市施設公社と話をし、南茅部地域内にある市営住宅について、空住宅が利用できるのかできないのか分からない状況なので、きちっと精査して、次の審議会までにできる範囲で答えていただければと思います。</p>
高谷静子委員	<p>高齢者交通料金助成は、どのくらいの人が利用しているのか？</p>
市民福祉課 (小枝課長)	<p>今現在、約520人から申請がありカードを発行しております。そのうちどのくらい購入したかまでは把握できません。平成25年度は前年度申請した人に対し、自動的にカードが郵送されることになり、今月末に約3万件発送すると聞いております。来年度からは新規で申請のあったもの以外、南茅部地域の件数把握が難しい状況となります。</p>

山下委員	<p>縄文交流事業の推進ということで、22万6千円記載されているが、この金額でどのような事業が実施できるのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>この予算につきましては、縄文遺跡群の世界遺産登録の関係経費でございます。縄文文化の価値を検証するための世界遺産登録推進委員会や、国へ提出する推薦書の作成を進めている世界遺産推進会議などへ参加するための旅費と、新年度から世界遺産保存活用推進協議会という地域団体等で構成する委員会を設ける予定であり、その報償費となっております。</p>
山下委員	<p>オリンピック招致には相当な金額を掛けているようだが、世界遺産に関しては随分少ないものだと感じた。</p>
熊谷会長	<p>会議に出席するための旅費とのことだが、旅費を支給する対象者はどういった人になるのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>この旅費につきましては、教育委員会職員が会議に出席するための事務旅費でございます。</p> <p>また、ここには掲載されておりませんが、世界遺産の負担金というものがあまして、垣ノ島遺跡と大船遺跡で96万4千円でございます。これまで掛かっている費用は、4道県全体で億近くになっておりまして、それを道と県が大部分を負担し、一部を関係市町村が負担するということになっております。</p>
遠山委員	<p>これまでのトータルで億単位の経費がかかっているとのことだが、函館市として、合併建設計画に記載しているもの以外で、世界遺産を推進するための活動費は計上されているのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>この登録に向けた枠組みでございますが、北海道、青森、秋田、岩手の4道県で構成しており、費用については4道県で捻出した枠組みの中で活動を行っているのが実情であります。</p> <p>市としては、あまり予算を掛けず大船遺跡でパネル展示をはじめ、縄文文化交流センターで講座を開くなどの広報活動をしているところであります。</p>
遠山委員	<p>次に簡易水道の配水管整備について、更新工事と記載されているが、どのような内容か教えてほしい。</p>
佐藤支所長	<p>水道整備については3箇所を計画しております。川汲清水線の増圧ポンプの更新、臼尻地区の配水管を改修するための設計委託料、尾札部簡易水道本管の漏水調査となります。</p> <p>なお、臼尻地区の配水管につきましては、かなり老朽化しており、昨年度も2箇所ほど、本管が破裂し断水しているとのことでした。</p>
遠山委員	<p>私の自宅では、特に夏場ですが、朝一番の仕事は水道水を出すことです。</p>

	<p>地域が限られているのか全域がそうなのか分かりませんが、濁った水が出ます。例えば、各家庭で、毎朝、水の濁りが無くなるまで水道水を出しておくということは、貴重な水資源を粗末にしていることになり、水道料金にも跳ね返ります。こういう住民のデメリットを市としてどうやって解決していくのか、今後も継続して老朽化した水道管の更新を考えているのか、お聞かせ願いたい。</p>
佐藤支所長	<p>配水管については、南茅部全体がかなり老朽化しており、年間5件ほど本管の破裂などが発生しております。その中でも、臼尻地域がかなり厳しい状態ということで、まず優先して配水管改修のための設計委託予算がつかしました。その他の地区については、支所も現場を見ておりますので、地域を勘案しながら早期整備を訴えていきたいと思っております。</p>
遠山委員	<p>臼尻地区の老朽化が激しいので優先的に実施するということだが、埋設時期は市で把握しているので本管等の老朽化の状況は分かっていると思うが、例えば、老朽化との兼ね合いもあると思うが、地域住民に聞き取り調査し、地域ごとに何件かピックアップして濁り度合いを調べながら、埋設時期に関わらず進める方法もあるかと思うので、今後、そういったことも検討しながら進めていっていただきたいと思っております。</p> <p>また、老朽化した水道管の更新は今後も継続されていく事業なのかどうか重ねて伺いたい。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今の遠山委員のご要望につきましては、企業局東部営業所もありますので、支所の方から状況を伝えて参りたいと思っております。</p>
佐々木委員	<p>高齢者緊急通報システムについて、現在、南茅部で何台くらい設置されているのか。また、新規で機器の設置を申し込んだ場合、スムーズに設置されるのか、順番待ちの状況があるのか詳しく教えてほしい。</p>
市民福祉課 (小枝課長)	<p>南茅部地域の設置台数についてですが、3月1日現在で94台設置されております。また、現在、順番待ちについてはほとんどありません。業者の手配などもありますので直ぐとはいきませんが、要望から設置まで1か月程度で対応できます。もし、そういった該当者がいらっしゃるようでしたら、社会福祉協議会経由になりますが、要望していただければ、それほど時間も掛からず設置できる状況となっております。</p>
熊谷会長	<p>他にありませんか？</p>
木原委員	<p>水道整備について、川汲から臼尻方面のバイパス沿いに本管が入っていない。自分も川汲バイパス沿いに家を建て、民間会社が埋設した既設の管から水道を引いたが、そろそろ容量が一杯になると聞いている。以前は、数年後に水道本管が入るとのことだったが、尾札部まで順調に来て、その先延びる気配がなくなっている。川汲、安浦のバイパス沿いで民家や商店も増えてきており、今後、個人で長い距離の水道管を敷設するとかなりの経費が掛かる</p>

	<p>こともあるので、本管の整備がいつ頃になるのか教えてほしい。</p>
佐藤支所長	<p>先ほど申しましたが、既設の本管の老朽化を優先して整備しております。バイパス高台区間では、尾札部の加工センター付近は本管が入っているようですが、川汲から臼尻方面については、本管が未整備となっております。川汲地区でも大型商店が増えてきており、臼尻地区にも縄文文化交流センターができ、豊崎まで延びている。そういう地域の声があるということで、再度水道局の方に要望して参りたいと思います。</p>
熊谷会長	<p>他にありませんか。</p> <p>無いようですので、最後に私から健康診査の関係でひとつ質問ですが、先般の市議会で、がん検診については医師がいなければ無効であるとの新聞報道がありました。南茅部地域でも4月から検診が始まるので、今後の市の対応策等について、分かっている範囲で聞かせてほしい。</p>
東部保健事務所 (山田所長)	<p>東部保健事務所におきましても、その新聞報道を見ていかに対応するかということで困惑している状況であります。健康診査につきましては、保健所で対応しておりますが、まだ東部保健事務所に内容等の情報が入っておりませんので、現段階ではお答えできない状況であります。</p> <p>現実的には4月19日から榎法華と南茅部地域で巡回健診が始まりますので、何か動きがありましたら情報提供して参りたいと考えております。</p>
熊谷会長	<p>そうすると、市議会での医師が傍にいないと違法だとの問題については、市の方としても認識しているということですね。</p>
東部保健事務所 (山田所長)	<p>6月頃までには市として目途を立てたいという新聞報道はありましたが、詳細な情報が入っておりませんので、東部保健事務所としては明確な答弁ができない状況でございますので、ご理解いただきたいと存じます。</p>
熊谷会長	<p>4月から始まりますので、違法性が指摘された訳ですから解消して、きちっとした健康診査に対応していただくようお願いします。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>他に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>(2) 平成25年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p>	
熊谷会長	<p>(2) 平成25年度地域審議会開催スケジュール(案)について、事務局から説明願います。</p>
事務局 (進藤課長)	<p>(資料4のとおり説明)</p>

熊谷会長	<p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>他に無いようですので、質疑を終了します。</p>
------	---

## 7 地域振興全般に関する意見交換

熊谷会長	<p>日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。</p> <p>(1) 函館市縄文文化交流センターの活用について意見交換を行います。前回お願いしていましたが、皆さんそれぞれ考えていただきましたでしょうか。皆さんから意見をいただいて、それをある程度まとめて地域審議会としての方向付けをしていきたいと思えます。関係者にもお願いしなければならない場面もあろうかと思えますので、まず意見だけ先にいただくという事でお願いしたいと思います。</p> <p>特段聞きたいことなどがあれば、教育委員会の阿部参事にお答えをいただきながら意見を出していただければと思います。</p> <p>どなたか、ご意見等ありませんか？</p>
遠山委員	<p>先日、世界遺産の講演会で、バッファゾーンの説明がありましたが、例えば、垣ノ島遺跡の周辺にバッファゾーンが設けられた場合、周辺に作業小屋が数件建っているが、その範囲に含まれたら景観上、撤去してもらうことになるのか？</p> <p>また、バッファゾーン内で新たに何かを構築しようとした場合、構築すること自体が認められないのか、それともある程度の規模や基準以下であれば認められるものか教えてほしい。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>世界遺産のバッファゾーンについてですが、世界遺産には、まず守るべき資産の範囲があり、これをプロパティといいます。これは文化財保護法等で守られている史跡の範囲で、基本的に現状変更する行為はできません。整備のための発掘調査や遺跡を整備するためのものに限られています。</p> <p>バッファゾーンというのは資産を守るための範囲で、世界遺産の中には自然遺産と文化遺産があり、文化遺産の中でも建造物や埋蔵文化財などに分かれています。特に自然遺産のバッファゾーンの場合は厳しく、木を勝手に伐採できないなどいろいろあります。また、文化遺産の場合、庭園や寺院などでは借景というものがあります。金閣寺の裏に大きなマンションを建てるのは避けるようにというものがあります。縄文遺跡群の場合は、埋蔵文化財で地下に保存されていますので、基本的には大掛かりな掘削をして地下水を遮断するなど、そういったものについて協議が必要となります。</p> <p>バッファゾーンの考え方ですが、今あるものを撤去させるというものではございません。そこは、今生活をしている住宅や作業小屋があれば、遮蔽とって、植栽で目隠しをして遺跡から見えにくくするような工夫をすること</p>

	<p>になります。</p> <p>現在、大船遺跡と垣ノ島遺跡については、それぞれバイパス延伸と臨港道路という大きな工事がございます。これについては、遺跡が世界遺産になる前から計画されているものであるということ、臨港道路については、遺跡を守るために盛土をしますので、法面には植栽を進めることなどについて文化庁と協議をしております。また、バイパスの大船延伸については、一部切土がありますので、地下水がどのあたりを流れているのかなど開建と協議をしているという状況でございまして、生活に必要なものについては、よほどのことがない限り大丈夫だということになりますが、年々、登録の基準が厳しくなってきておりますので、その都度状況に対応していきたいと思っております。</p>
遠山委員	<p>交流センターができ、観光客が予想より増えているということも聞きますが、観光客に対する地域としてのフォローというか、民間の努力も足りないと思っておりますが、バイパスから旧道の方への波及効果がないような状態だと思います。支所でもパンフレットを作ったりしているようですが、なかなか旧道まで、人が来てもらえない状況です。</p> <p>地域の見取り図、道路図、観光案内等の地図看板のようなものを設置できないのか。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>世界遺産というのは、まず遺産になることによって、地域の人たちがこの遺産を保存して、それを活用して、まちづくりをしていくという流れになると思います。このまちづくりについては、まだ構想の段階ですが、石見銀山が一番いい例かと思っております。史跡の周辺にお土産屋さんをずらっと並べるといことではなく、史跡は史跡として守りながら、そこに行く過程の街並みの中に、そこでしか食べられない漬物屋さんがあるとか、他の名物があるとか、史跡と町が連携する中でまちづくりを図っていくということが、理想的かと思っております。世界遺産の方は、事務的な流れでは着々と進めておりますが、高台のバイパス沿いにある縄文文化交流センターを含む遺跡群と下の街並みを、いかに連携させ活性化を図っていくかということは、教育委員会だけではなく、世界遺産になるということ为前提としたまちづくり構想のようなものを作っていくのが望ましいと思っております。</p>
熊谷会長	<p>旧道との連携を図るための観光看板等の設置について、行政として支所長どうでしょうか？</p>
佐藤支所長	<p>遠山委員の意見も必要なものと思っております。先ほど事業計画でも少しふれましたが、平成25年度には世界遺産登録活用検討委員会という組織化もなされて参ります。また、世界遺産の登録後となれば、観光振興的にも地域振興的にも相当状況が変わってくると思っております。函館、榎法華、鹿部の各方向からの道路案内等についても、皆様のご意見を踏まえながら行政側も連携して取り進めるべきと考えております。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>世界遺産の話題がでましたので、議会でも答弁したことですが今後の見通しについて説明させていただきたいと思っております。</p>

	<p>世界遺産にするためには、国に推薦書を提出しなければなりません。その推薦書の協議案を3月31日付で提出することになっております。今それに向けて必死で取り組んでいるところですが、その後、協議案から国としての原案に作り替え、文化庁の指導を受けながら、6月には推薦書原案として国に提出をいたします。その後、国がこれで良しとなった場合、9月頃を目途に国からユネスコに推薦書を提出いたします。その後、26年度にはユネスコのイコモスという調査機関の現地調査を受けることになり、27年度、ちょうど新幹線の函館開業の年ですが、ここで本登録になるという状況で進んでおります。</p> <p>ただし、日本の暫定リストに載っている資産は13件ございますが、富士山と古都鎌倉の2つは、既にイコモスの現地調査を受けております。27年度に本登録となるためには、まず先行する富士山と鎌倉が順調に25年度に登録されることが前提となります。それに加え、本年度、群馬の富岡製紙場が推薦書を提出しましたので、25年度にイコモスの調査を受けることになります。今までは年に2件くらいユネスコに推薦していましたが、昨年から1国1件に絞られており、25年度に富士山と鎌倉が登録される。そして、26年度に群馬の富岡製紙場が登録され、その後に、縄文遺跡群となりますが、実は、長崎の教会群が同時に推薦書協議案を出すこととなりますので、先行する3件の資産が順調に進み、長崎の教会群に縄文が勝つ、ということが必要となります。事務作業は順調に進めていますが、先行する資産の状況によっては、若干のずれが出てくるという状況でございます。</p>
藤川委員	<p>世界遺産については、みんな期待しているが、現在の公共施設について、例えば観光客がきて、縄文文化交流センターだけ見て帰っているのか、大船遺跡とドッキングしているのか、今ある施設と工夫の仕方があると思う。交流センターに来た人が、大船遺跡に行けるようになっているのか。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>大船遺跡につきましては、今まで1万から1万2千人くらいの見学者でしたが、縄文文化交流センターが出来てからは、1万3千から1万5千人くらいで推移し、2千から3千人が増えている状況となっております。交流センターを見た後に大船遺跡へ向かう見学者が増えていると考えております。</p> <p>また、団体に修学旅行などが入っていますが、100から120人くらいおり、一度に交流センターに入れなため、大船遺跡の班と交流センターの班に分けてそれぞれ交互に見るという仕組みを作っており、大船遺跡も順調に活用しているという状況でございます。</p>
藤川委員	<p>垣ノ島遺跡の集落などの整備はいつ頃できるのか。また、当初、海が見えるように整備すると聞いたが、実際に海が見えるように整備されるのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>垣ノ島遺跡の整備につきましては、今後、5年程度発掘調査をし、その調査の中で整備のための基本計画を作り、その後、合併特例債の使える2年間で整備をしていきたいと考えております。</p> <p>整備のイメージですが、世界遺産レベルの整備となると、過度な構造物を</p>

	<p>建てていかないというのが一番で、復元建物に対してはかなり厳しい査定があります。ですから、住居群の窪みが見えるとか、垣ノ島遺跡の特徴として盛土遺構がはっきりしていますので、そういう盛土の状況が見えるなど、この下に遺跡があるということを感じさせるような工作物を作りながら整備していく予定であります。当然、その中には海が見えるという部分も必要になってくると考えております。</p>
藤川委員	<p>なんとといっても、観光客にとって魅力のあるものに、また、整備して終わりということではなく、地元の人にとっても魅力のあるようなものにしてほしいと思っています。</p>
熊谷会長	<p>今、遠山委員と藤川委員から意見が出ましたが、縄文文化交流センターをどうやって地域で活用、PRしていくのか難しいことだと思います。民間で看板を立てていいのかということもありますし、立てられるとすれば、どの範囲に立てれば効果的なのかということもあります。ですから、今日は、皆さんからいろいろ意見をいただき、出来るもの出来ないものを精査して、各種関連団体と連携し、ある程度でも地域の中で活用できるものがあれば、そういう方向で進めていければと思います。</p> <p>昨年のオープン1周年記念では、商工会が主になって縄文文化創生の会や北の縄文クラブ等の各種関連団体が協力して記念行事を企画しましたが、これは支援だけの話であり、逆に、いかにして活用していくかが問題だと思います。漁師町だから皆さんも忙しく、各種団体の協力を得ることも難しいと思いますが、今日はアイデアだけでも出していただいて、また後で、詰めていきたいと思っています。他に何かありませんか？</p>
佐々木委員	<p>ソフト面になると思いますが、交流センターの活用ということで、いろいろなことを考えた中で、一番強く思ったことを正直にお話しします。</p> <p>交流センターを利用している方は、遠くから来られるリピーターの方もいると思いますが、本当は、ここの地域の人が一番それを意識して、楽しんで活用しようという強いものがなければいけないと思いますが、その部分がドーナツ状に欠けていると言うか、そこが一番の問題だろうと思います。</p> <p>でも、どうすれば地域の人に縄文文化について興味を持ってもらえるかとなると、とても難しいと思います。例えば、役職についている人たちが意識していろいろなアイデアを出したりしていますが、全体を通して、例えば学校などを見ても意外とそういう意識が薄いと感じています。</p> <p>私たちが、そういうことを子供たちに託していこうとしても、大人が胸を張って、興味をもっているかというところではないという、私の中では少し残念だとの思いがあります。</p> <p>これをどうしようかという時に、やはり教育委員会にお願いしたいと思いますが、地元でたくさん勉強会を開催し、面白く、ユーモアも混ぜながら、みんなが分かるような、そういう場を作って、みんなでいろいろなことを話せるような場がたくさんほしい。そういう中で、いろいろな興味を持ってもらえればいいなと思います。旧函館市内で専門の偉い先生のディスカッションを開催したという新聞記事も目にしますが、そういうものではなく、地元</p>

熊谷会長	<p>で、素朴に行って、その輪が広がっていけるようなものがほしいと感じています。</p> <p>今の話題に関連して、地域の小中学生の縄文文化交流センターに関する課外活動、また通常の授業の中でもいいですが、どの程度利用されているのか状況が分かれば、併せて教えていただきたいと思います。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>まず学校関係の利用状況ですが、オープンした23年度、地域内では、大船、臼尻小学校、尾札部中学校の児童生徒、磨光、大船小学校の教員の研修などで使われております。その他旧市内では北昭和、金堀、日新、駒場、湯川小学校、深堀中学校などが活用しております。</p> <p>平成24年度につきましては、市内はもちろんですが、倶知安や伊達など市外に広がってきたという状況になっております。</p> <p>今後も小中学校等に働きかけながら、利用してもらうようにして参りたいと思います。</p> <p>また、ただ今佐々木委員からご意見がありましたように、世界遺産にしていくという中で一番大切なのは、地域の人たちが、特に子供たちが、遺産に対して誇りに思うこと、その気持ちがまちづくりには必要と思っています。私たちも本当にそうした勉強会の場を設けたいとの思いでしたが、これまでは、世界遺産登録のための推薦書作成や事務作業に忙殺されているような状況であり、なかなか実施できずじくじたる思いをしてきました。新年度には、関係団体も含めた協議会を作りまして、あとは地域と一体となって、まず地元から盛り上げていくことが必要となって参ります。そして、イコモスの調査員がきたときには、地元が盛り上がっているということが大事になります。オリンピックと同じように、地元がどれだけ取り組んでいるかということも評価の対象となりますので、そうしたものも含めて、地域での勉強会の数を増やしていきたいと考えております。</p>
熊谷会長	<p>その他ありませんか？</p>
遠山委員	<p>道の駅の入込数を把握していたら教えてほしい。また、世界遺産登録に向けて動き始めた時の観光客への対応について、通常でも、何かイベントをすると駐車場が足りなくなる状況ですが、市として、どこか目ぼしいところに駐車場用地を獲得する意思があるのかどうか？</p> <p>次に、道の駅について、当初から半端な大きさで、火器も使えない厨房もないため食事の提供もできない状況で、将来的に世界遺産となった際には、拡張するなり改築するなり、そのような意思を市として持ち合わせているのかどうか。それと、垣ノ島遺跡はバイパス沿いだからいいとして、今のままで世界遺産になった場合、大船遺跡については、非常にアクセスが悪い。交通誘導員を常駐させることも必要になるだろうし、何よりも説明員の問題も出てくると思います。例えば、観光客が押し寄せた時に、きちっと遺跡に張り付いて、それを的確に説明できる人をそこに配置しておかなければ、せっかく来たのに、がっかりして帰ってしまう可能性もある。その当たりの対</p>

	<p>応などもしていかなければと思います。ちょっと気が早いかもしれませんがそういったことも心配しています。</p>
<p>教育委員会 (阿部参事)</p>	<p>道の駅の入込数事態は把握しておりませんが、交流センターの方は今年の10月にオープンしてからこれまで1年半で約7万2千人の入館者がございました。入館者数の1.6倍から2倍近い人たちが道の駅を利用していると予測されますが、正確な数字は把握しておりません。</p> <p>道の駅の食事を提供するスペース等の拡張についてですが、教育委員会の基本的な考えですが、既存の飲食店等もありますから、そういうところと連携して、いかにそこへ案内をしていくか、例えば、下の飲食店等と連携して縄文蕎麦や縄文いなりなど、縄文にちなんだ料理や名物を考えてもらい、そういったことの案内をしていきながら下の商店等とのつながりを作っていきたいと思っております。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>次に、大船遺跡にボランティアガイドを配置するという考え方はどうでしょうか？</p>
<p>教育委員会 (阿部参事)</p>	<p>現在、縄文文化交流センターで体験学習を実施しておりますが、常時体験できるものと、定期的に講座をやっているものとあり、常時体験できるものは楽しんでもらうために開催していますが、定期的に実施している講座というのは、かなり学習的な部分もありまして、それについては、将来のボランティア育成も兼ねて実施しております。ただ、地元の人たちがボランティアにどれだけ参加できるかどうか、産業の形態が、一番お客さんが多い夏場というのが一番忙しい時季でもありますので、そういう難しさはあるだろうと思っておりますが、それは、ボランティア育成上の課題として取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>市として駐車場を整備する意思があるかという問いについてはどうでしょうか？</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>世界遺産登録を目指しておりますので、もし本登録となれば、相当、観光客も増え、それらのことを見据えて駐車場はどうするのかとのお考えだと思いますが、もう一方ではバイパス豊崎～大船間が延伸されたとき、上り下りのルートで交通量がどう変わるのか、世界遺産登録の年次がいつになるか、どのくらい入り込み数が増えるかなど、それらを踏まえた中で、駐車場の整備についても、関係機関も含めて対応が必要になるものと考えております。</p> <p>次に、ボランティアガイドについては、世界遺産の登録時期も関係してきますので、今の時点で、取り組みできるものと、なかなかできないものがあります。遠山委員のご意見のとおり、駐車場やボランティアガイドもそうですし、地元の飲食店等の連携や、住民総出で迎えるという地域内の盛り上がりなどが必要になってくるものと考えております。</p>
<p>遠山委員</p>	<p>ボランティアガイドは直ぐに養成できるものではなく、ある程度年数を積</p>

	<p>まなければできないと思うので、一つの案として、高校生に呼びかけて少しずつでも協力してもらい、クラブ活動等もあるかと思っていますので、よりもっと何か動きがあればいいと思っています。</p> <p>また、地域を上げた対応についてですが、過去であれば、地域でプロジェクトチームを立ち上げて、漁協、商工、建設、観光に関する業者等が集まって協議会を作り、今後に向けての対応を協議していくというような場もあったと思います。今後、民間の団体と協議をしながら、世界遺産登録に向けた事業展開や推進活動を一緒に考えていく形があればいいと思いますが、市としてどう考えているのか？</p>
佐藤支所長	<p>先ほどもお答えしましたとおり、事業計画の7ページの中でも縄文交流事業の推進ということで推進経費が載っております。阿部参事からの回答でもふれておりましたが、この中に、世界遺産保存活用協議会という地域団体で構成する協議会の発足というものがあります。今後、この協議会での議論も踏まえ、活動が進められていくものと思っています。</p>
熊谷会長	<p>その他ありませんか？</p>
張磨委員	<p>市内の子供たちが無料や半額で入館できるようにしないのか？</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>市内の小中学校は無料になっており、65歳以上の方も半額で入館できるようになっております。</p>
遠山委員	<p>今、「ゆるキャラ」ブームになっていますが、中空土偶の「ゆるキャラ」を作ってみてはどうか？</p>
熊谷会長	<p>カックウの「ゆるキャラ」を作ってみるのもいいかもしれませんね。そういったことも含めて今後考えていってもらえればと思います。</p> <p>交流センターの活用については、テーマを決めて集中的にということではないですが、今後も地域審議会で、皆さんから何かアイデアがあれば、意見を述べていただくということで、今日はこのくらいで閉めたいと思います。</p> <p>その他で私の方から提案ですが、阿部参事から、今後5年間くらいで垣ノ島遺跡の発掘調査を実施するとありましたので、現地視察をしてみたらどうかと思います。垣ノ島遺跡の実態といいますか、発掘している現場を視察してみて、縄文文化交流センターの活用についても、今後どうしたら良いかいろいろな意見も出てくるのではと思いますので、皆さんどうでしょうか？</p> <p>(異議無し)</p> <p>それでは、事務局の方で現地視察の日程調整をお願いします。</p> <p>皆さんからいろいろな意見をいただきましたので、意見交換についてはこれで終了したいと思います。</p>

## 8 その他

熊谷会長 日程8のその他についてですが、  
総括して何かありませんか？

遠山委員 尾札部町の旧ヨシオカ商店のシャッターが壊れて非常に危険な状態になっています。風でバタバタし、通行人や車両に影響があるかと思しますので、誰が管理しているのか分かりませんが、きちんと管理するよう要望してほしいと思います。

佐藤支所長 管理している方に要望したいと思います。

熊谷会長 他に無いようですので、質疑を終了します。  
皆様には、長時間にわたり、熱心にご審議いただき、ありがとうございました。  
次回の地域審議会は7月を予定しておりますので、皆さん出席していただければと思います。  
本日は、これをもちまして閉会いたします。

(午後4時55分、閉会)